



JAPANESE B – STANDARD LEVEL – PAPER 1
JAPONAIS B – NIVEAU MOYEN – ÉPREUVE 1
JAPONÉS B – NIVEL MEDIO – PRUEBA 1

Friday 21 May 2010 (afternoon)
Vendredi 21 mai 2010 (après-midi)
Viernes 21 de mayo de 2010 (tarde)

1 h 30 m

TEXT BOOKLET – INSTRUCTIONS TO CANDIDATES

- Do not open this booklet until instructed to do so.
- This booklet contains all of the texts required for Paper 1.
- Answer the questions in the Question and Answer Booklet provided.

LIVRET DE TEXTES – INSTRUCTIONS DESTINÉES AUX CANDIDATS

- N'ouvrez pas ce livret avant d'y être autorisé(e).
- Ce livret contient tous les textes nécessaires à l'Épreuve 1.
- Répondez à toutes les questions dans le livret de questions et réponses fourni.

CUADERNO DE TEXTOS – INSTRUCCIONES PARA LOS ALUMNOS

- No abra este cuaderno hasta que se lo autoricen.
- Este cuaderno contiene todos los textos para la Prueba 1.
- Conteste todas las preguntas en el cuaderno de preguntas y respuestas.

問題 A

たいしょうてん
ロボット大賞展 2010

最近は おもしろいロボットがたくさんあります。

A
家庭で遊べる
ひとがた
世界最小! 人型ロボット



B
人が入れない所に入る
ロボットスコープ



C
ページめくりロボット
自分のペースで読書を楽しもう!



D
う
無人田植えロボット



E
エンジニアを育てる
きょうざい
ロボット教材



今年一番活躍したロボットの^{てんらんかい}展覧会を開きます。実物のロボットやデモンストレーションを見たり、開発者から話を聞いたりすることができます。また、体験^{たいけん}コーナーもあります。みなさん、ぜひ見に来てください。

- | | |
|-------------------------|--|
| 日にち | 2010年12月17日(金)～19日(日) |
| 時間 | 10:00～17:00 |
| 会場 | TEPIA プラザ (東京都港 ^{みなと} 区北青山) |
| 入場料 | 無料 |
| 体験 ^{たいけん} コーナー | 自分でロボットを作ってみよう。(予約が必要 ^{よやく}) |
| ホームページ | www.robotaward.jp |

問題 B

給食の のこりの ご飯で おにぎりを

神奈川県かながわの学校に「おにぎりグループ」が現れました。「おにぎりグループ」のメンバーは学校の調理員さん、給食室きゅうしょくしつで給食きゅうしょくを作っている人です。給食きゅうしょくが終わるころ、教室に現れて、のこったご飯でにおにぎりを作ってくれます。

調理員さんたちは、ある日、先生から、「ご飯きゅうしょくのときは、のこりが多くなる。」という話を聞きました。そして、「それはもったいない。教室に行っておにぎりを作れば、食べてくれるだろうか。」と考えはじめました。一度やってみると、生徒せいとに大人気だったので、2004年から続けています。



おにぎりグループが出動するのは、ご飯の のこりが多めになる和風おかずの日。調理員さんたちが教室せいとに来ると、生徒は大よろこびで、れつを作って待ちます。



いつもは忙しい調理員さんたちも、「給食室きゅうしょくしつを出て、生徒せいとと会えるチャンスなのでうれしい。」と話しています。生徒たちも、「次に来てくれるのは、いつ?」と毎月、その日を楽しみにしています。

おにぎりグループは一つの学校で始まりましたが、今は他の学校にも広がっています。みなさんの学校にも おにぎりグループが現れるといいですね。

問題 C

中国からの手紙

二〇〇八年の五月に中国の四川で大きな地震がありました。その後、奈良県の生徒は、四川に住んでいる生徒の事を心配して、手紙を書きました。「中国のお友達へ。がんばってください。」などと書いて、大使館を通して、四川に送りました。

奈良の生徒は、手紙を送った後も、四川の事が気になっていました。例えば、北京でオリンピックをやっている間も、四川は大変なんだろうと、いろいろ考えていました。そのとき、現地の生徒から返事が もどってきました。「私たちと あなたの学校の間の交流の橋は、もう できあがっているとしんじています。」 中国の四川にある学校からとどいた手紙には、そう書いてありました。きれいな字が ふでで一字一字ていねいに書いてありました。

「返事が来るとは思っていなかったのですが、びっくりした。手紙が書けるぐらい元気になって良かった。安心した。」と奈良の生徒は話します。手紙には、地震で学校が一部こわれたので、今は他の場所で授業をうけていることなどが書いてありました。

中国せいふによると、四川大地震でなくなった人は七万人ぐらい、子どもも四千七百人ぐらいなくなっただけです。新学期が始まる九月からは、学校も再開されましたが、ユニセフは「心にきずを持った子どもも多く、これからも いろいろなサポートが必要」と話します。

奈良の生徒は、これからも手紙を書いたり、お金を集めたりして、四川の生徒と交流を続けるつもりです。

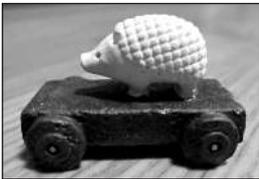


問題 D

ルーヴル美術館展

フランスのルーヴル美術館の作品が日本にやってきます。ルーヴル美術館は、1793 年に開館したパリにある有名な博物館です。

日本に来る作品は「子ども」をテーマにした作品で、6 月 1 日まで東京都港区六本木の国立新美術館で見ることができます。美術館は毎日午前 10 時から午後 6 時まで開いています。チケットは高校生 800 円、大学生 1200 円です。



台車に乗ったハリネズミ

作品は7つのテーマに分かれています。テーマの一つは「子どもの日常生活」です。むかしの子どもが使った勉強用具や、おもちゃなどがあります。「台車に乗ったハリネズミ」はイランで見つかった物で、3000 年以上前の物だそうです。子どもはむかしもおもちゃで遊んでいたことが分かります。

また、子どもたちが家庭教師のまわりをかこんでいる像もあります。これはアフリカの北部で見つかりました。むかしの勉強の様子が、よく分かります。



少女のミイラ

「死をめぐる」のコーナーでは、少女のミイラを見ることができます。日本では初公開です。古代エジプトの子どものミイラはルーヴル美術館には一体しかない、大変めずらしい物です。

他のコーナーは「キリスト教美術の中の子ども」です。マリア像などがあります。また、「家族の生活」のコーナーには、家族が集まっていて、明るいふんいきの絵がいろいろあります。



マリア像

国立新美術館の専門家は「ちがう時代や文化の人が、子どもについてどう考えていたかがよく分かります。」と説明していました。